

令和 5 年度
決 算 報 告 書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

貸借対照表

令和6年3月31日現在

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	75,022,524	55,560,875	19,461,649
現金	113,474	115,872	△ 2,398
普通預金	74,909,050	55,445,003	19,464,047
未収金	1,866,000	12,000	1,854,000
前払費用	2,115,098	2,208,360	△ 93,262
前渡金	0	0	0
流動資産合計	79,003,622	57,781,235	21,222,387
2 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	79,003,622	57,781,235	21,222,387
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	3,200	△ 3,200
前受金	504,000	0	504,000
仮受金	0	0	0
流動負債合計	504,000	3,200	500,800
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	504,000	3,200	500,800
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	78,499,622	57,778,035	20,721,587
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	78,499,622	57,778,035	20,721,587
負債及び正味財産合計	79,003,622	57,781,235	21,222,387

正味財産増減計算書

自令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0
③ 受取入会金・会費	17,358,000	17,465,600	△ 107,600
正会員受取会費	17,358,000	17,465,600	△ 107,600
④ 事業収益	20,688,592	13,660,834	6,896,458
研修集会参加費	875,000	2,959,000	△ 2,084,000
学術大会参加費	5,808,000	3,057,000	2,751,000
研修会・講習会参加費	12,322,892	6,093,434	6,229,458
前期研修委託金	1,578,000	1,516,000	62,000
後期研修受講料	104,700	35,400	69,300
⑤ 受取補助金等	0	0	0
⑥ 受取寄附金	0	0	0
⑦ 雑収益	1,008,610	372,667	635,943
受取利息	30	27	3
雑収益	1,008,580	372,640	635,940
経常収益計	39,055,202	31,499,101	7,556,101
(2) 経常費用			
会議費	1,255,445	1,191,672	63,773
賃借料	4,797,549	4,403,198	394,351
消耗品費	205,775	188,912	16,863
発送費	258,474	178,786	79,688
旅費交通費	448,348	317,680	130,668
印刷製本費	811,353	1,819,186	△ 1,007,833
講師料	3,945,750	3,357,481	588,269
講師交通費	167,762	68,960	98,802
支払手数料	3,429,483	1,491,559	1,937,924
広告宣伝費	22,000	34,100	△ 12,100
交際費	178,548	155,401	23,147
保険料	24,000	10,605	13,395
通信運搬費	845,408	1,932,248	△ 1,086,840
備品購入費	15,400	0	15,400
市町村士会支援金	653,697	1,095,900	△ 442,203
租税公課	697,900	221,400	476,500
雑費	576,723	130,062	446,661
経常費用計	18,333,615	16,597,150	1,736,465
当期経常増減額	20,721,587	14,901,951	5,819,636
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	20,721,587	14,901,951	5,819,636
一般正味財産期首残高	57,778,035	42,876,084	14,901,951
一般正味財産期末残高	78,499,622	57,778,035	20,721,587
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	78,499,622	57,778,035	20,721,587

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項なし。
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項なし。
 - (3) 固定資産の減価償却の方法
該当事項なし。
 - (4) 引当金の計上基準
該当事項なし。
 - (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
3. 会計方針の変更に関する注記
該当事項なし。
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
該当事項なし。
5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
該当事項なし。
6. 担保に供している資産
該当事項なし。
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当事項なし。
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項なし。
9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業とする場合を除く)等の偶発債務
該当事項なし。
10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項なし。
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項なし。
12. 基金及び代替基金の増減額及び残高
該当事項なし。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項なし。
14. 関連当事者との取引
該当事項なし。
15. 重要な後発事象
該当事項なし。

財産目録

令和6年3月31日現在

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金預金			75,022,524
現金	手元保管	運転資金として	113,474
普通預金	三井住友銀行上町支店	運転資金として	74,909,050
未収金	当年度会費受講費未収分		1,866,000
前払費用	次年度以降賃借料前払分		2,115,098
流動資産合計			79,003,622
固定資産			
基本財産			
基本財産合計			0
特定資産			
特定資産合計			0
その他の固定資産			
その他の固定資産合計			0
固定資産合計			0
資産合計			79,003,622
流動負債			
前受金	次年度研修会費前受分		504,000
流動負債合計			504,000
固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			504,000
正味財産			78,499,622

監査報告書

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの一社)大阪府理学療法士会生涯学習センターの業務ならびに会計の監査を行いました。
監査方法ならびその結果について報告いたします。

1. 監査方法

1) 業務監査について

理事会ならびに重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な関係資料を閲覧により業務執行の妥当性を検証しました。

2) 会計監査について

当該年度に関わる計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)および附属明細書と財産目録について検証しました。

2. 監査結果および意見

1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業内容は適正で有り、理事の職務執行に関して不正行為や定款に違反する重大な事実はなかった事を認めます。
- ② 計算書類貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、帳簿の記載内容と一致し、生涯学習センターの収支および財産の状況を正しく示し、適正に処理をされた事を認めます。

2) 監事の意見

- ① 組織率に与える府士会会費を減額達成に寄与できたことは、半世紀以上の中で初の快挙であり評価ができる。今後も会員の退会削減に係る会費減額ならびに会員サービスの向上に務めてもらいたい。
- ② 大阪府理学療法学会の大会長・運営者を4支部持ち回り方式で選出された大会は、市区町村士会を巻き込み、大会規模が充実してきたことに評価ができる。今後は、近畿圏のハブ的役割を担い、更なる大会規模の充実に努めてもらいたい。

- ③ 主催研修会の参加延べ数の増加は、開催数だけでなく講師、テーマの設定が会員ニーズにマッチし、総合的に評価ができる。また、研修集会、認定教育カリキュラムは、さらなる充実に向け努めてもらいたい。
- ④ 府士会と共同使用する士会事務所は利用に応じ費用負担に努めてほしい。今後は、一般会員も利用できる開かれた会館であってほしい。
- ⑤ 収益事業の大幅な展開によって、年々正味財産残高が高額になりつつある。今後は、将来設計のもと生涯学習センターの環境、会員サービスなどしっかりと計画をもって運用に努めてもらいたい。

2024年5月8日

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

監 事 _____ 千葉 一雄 _____

監 事 _____ 黒田 健司 _____

監 事 _____ 神尾 昭宏 _____